

キャンプファイア

プログラムの概要・ねらい

一つの火を輪になって囲むことで、参加者の連帯感や親睦を深める。キャンプ生活の導入や振り返りなどに用いることもできる。ねらいによって、内容や実施方法が大きく異なる。

場所	営火場		
時間	1時間30分～ 2時間		
値段	料金表参照		
季節	年間		
人数	200人程度まで	   	

準備物

- 【利用者】軍手、革手袋、ライター、音響機器
季節に合わせた服装、救急用品
- 【自然の家】薪セット※（太薪6段分、細薪4束、トーチ2本、トーチ用灯油）
※追加トーチは必要に応じて
電気コードドラム

①準備

※火の神の衣装は、必要に応じて団体で持参する。

事前に実施の有無・薪組みの時間をサービスセンター受付に伝える。

資料「キャンプファイア実施手順（準備・片付け）」・

資料「キャンプファイア薪組み」を参考し、事前に準備、薪組みをする。

※薪組み後、荒天等で実施できなかった場合も料金が発生する。

安全上灯油をかけない

【役割】

- 火の管理を行うファイアーキーパーの役割を決める。
※炎の調整、ゲーム中の安全管理などを行う。
- 必ず綿の長袖、長ズボン、軍手、革手袋、帽子を着用する。
- 野外炊飯場のバケツ、火ばさみ等を使用し安全に行う。



【太薪】



【細薪】



【トーチ棒】

②実施の流れ

実施直前に、サービスセンター受付に灯油を受け取る。※必要であれば電気コードドラムも

キャンプファイアには決まり切ったマニュアルや形態はない。

<キャンプファイアの種類 一例>

・セレモニカルファイア
挨拶や誓いの言葉などによる儀式的なファイア。キャンプの最終日などに終始一貫してゲームなどを用いずに行われる。

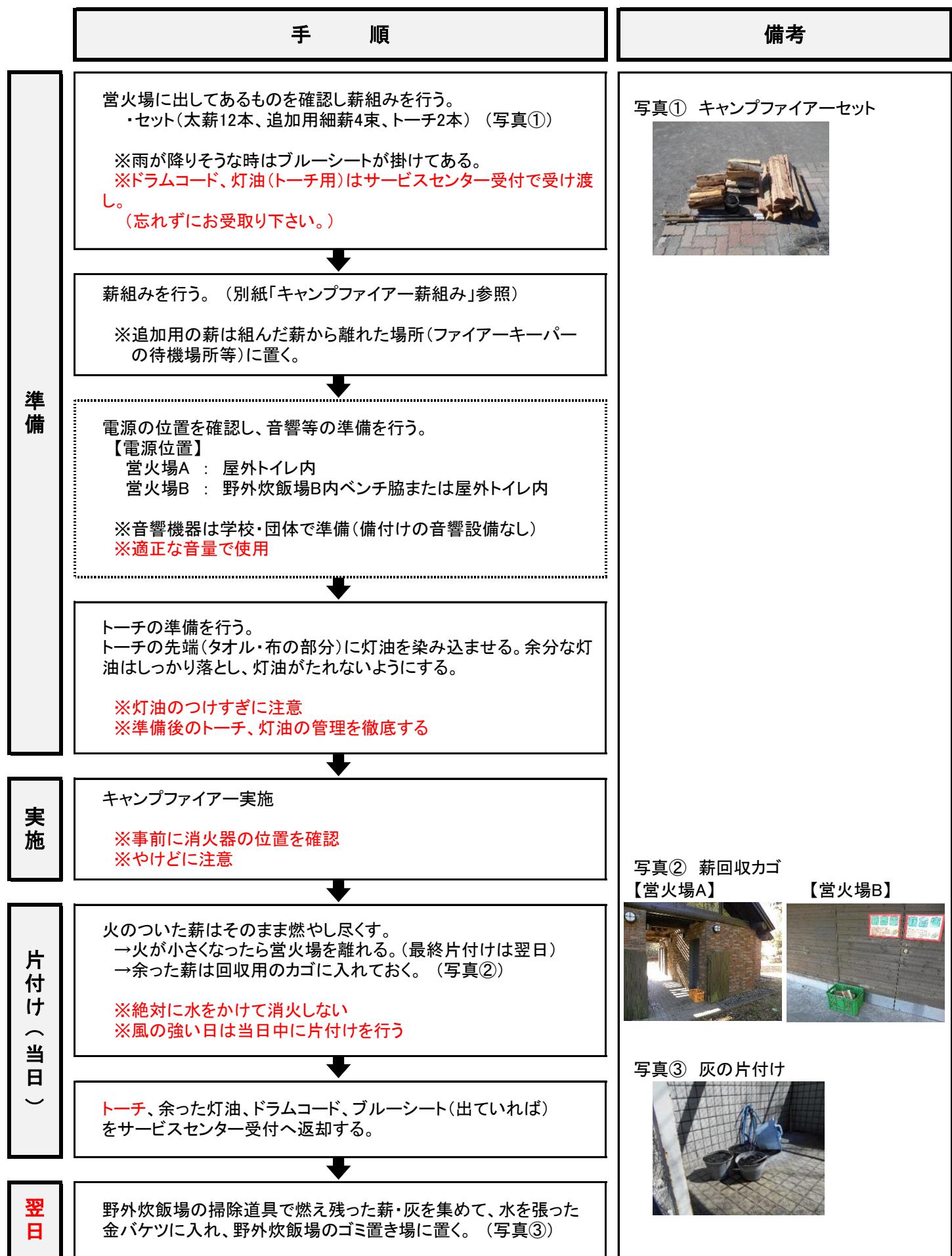
・ポンファイア
参加者が一堂に会し、歌やゲーム、ダンスや演奏そして寸劇（スタンツ）など
レクリエーション的なプログラムで親睦を深めようとするもの。楽しく過ごすことが前提。
キャンプの初日などに用いられ、レクリエーションとしての要素が大きくなる。

・カウンシルファイア
キャンプの基本精神を象徴するためのファイア。キャンプの数日間を振り返ったり、
思い出や日々の出来事から学んだことを考えたり話し合ったりする。参加者の感想発表などを
主な内容とする。最後の夜に振り返りのプログラムとして用いることができる。

③後片付け

資料「キャンプファイア実施手順（準備・片付け）」参照し、片付けをする。

キャンプファイア実施手順(準備・片付け)



キャンプファイア 薪組み

キャンプファイアの薪組みは様々な方法がありますが、以下に一例を示します。安全にご注意いただきながら、楽しく思い出に残るキャンプファイアを実施ください。

薪組みの仕方

1. 営火場に準備してあるキャンプファイアーセットを確認する。

セット・・・太薪 12 本（6 段分）・薪 4 束・トーチ 2 本・灯油（写真①）
※雨天が予想される場合、ブルーシート貸出

①



2. 太薪を井桁に組む。

太薪を漢字の『井』のように組む。（写真②）
太さを調節しながら、出来るだけ平行に組むようとする。
最下段にトーチを入れる場所を確保する。（写真③）

②



③



3. 井桁の中心に細い薪を選び詰める。

薪束の薪を井桁の中心に詰める。（写真④）
中心から外側に向かって細い薪から太い薪と詰めると火のつきが良い。

④



4. 完成（写真⑤）

5. トーチの準備を行う。

トーチの先端の布に灯油を染みこませる。
余分な灯油は絞るか、良く振って落としておく。
(灯油を垂れるほど浸すと、点火時に手元に火が延びてくるので注意する)

⑤



※雨天が予想される場合、当日にキャンセルすることも可能だが、

薪組みをしてしまうと料金が発生するので注意する。

※薪束（細薪）・トーチは追加注文可能（別途料金）。